

エルコン2ウィーク UV

【終日装用】

【警告】

コンタクトレンズを適切に使用しても以下のような目の障害が起きる危険性がありますので、定期的に眼科医の検査を受けてください（レンズの種類、使用期間、目の状態などにより個人差があります）。

- 長期間の使用により、角膜内皮細胞の減少が早まったり、巨大乳頭結膜炎などが発症する可能性
- 角膜への酸素供給が低下することにより、角膜浮腫や角膜血管新生などが発症する可能性
- その他、角膜潰瘍、角膜炎、角膜浸潤、角膜びらん、結膜炎などが発症する可能性

【特に注意していただきたいこと】

- コンタクトレンズをご使用前には、必ず添付文書をよく読み、表現や内容でわからないところがあれば必ず眼科医に相談し、よく確認してから使用してください。
- 添付文書は大切に保管してください。

コンタクトレンズは目に直接のせて使用するものです。コンタクトレンズの取扱方法を誤ると、角膜潰瘍などの重い眼障害につながる場合があります。また、治療せずにそれを放置すると失明してしまうこともあります。コンタクトレンズを安全に装用するために、必ず添付文書をよく読み、眼科医の指示に従い、正しい取扱方法を守ってください。

1) レンズの交換サイクルを守る

本品は2週間交換終日装用レンズです。眼科医の指示に従い、使用期間内（2週間以内）に新しいレンズと交換してください。

2) 装用時間を正しく守る

レンズの装用時間には個人差があります。眼科医から指示された装用時間を必ず守り、寝る前には必ずはずしてください。装用時間を正しく守らないと、眼障害につながる危険性が高まります。

3) 取扱方法を守り、正しく使用

レンズやケア用品の取り扱い方法を誤ると眼障害につながる場合があります。レンズやケア用品（特にレンズ保存ケース）は常に清潔に保ち、正しい取扱方法を守ってください。

4) 定期検査は必ず受ける

自覚症状がなく調子よく装用していても目やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。目の健康維持のためには異常がなくとも眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

5) 少しでも異常を感じたら、直ちに眼科を受診

レンズをつける前に、毎日、自分で目ヤニや充血がないか、またレンズをつけた後も、異物感などがなければ確認し、少しでもこれらの異常を感じたら装用を中止し、直ちに眼科を受診してください。

6) 破損などの不具合があるレンズは絶対に使用しない

装用前に、レンズに破損などの不具合がないか必ず確認し、不具合が認められたレンズは絶対に装用しないでください。異常のあるレンズを装用すると眼障害につながる場合があります。

7) 装用中にレンズが破損したら、直ちに眼科医の指示に従う

万一、レンズが装用中に破損した場合は直ちに装用を中止し、異物感や痛みなどの自覚症状がなくても、直ちに眼科医の検査を受けてください。

コンタクトレンズの装用に適していない例（装用禁忌例）

【禁忌-レンズ装用に適していない例】

コンタクトレンズを使用できない病気や環境があります。装用を開始する前に必ず眼科医に相談し、これらの病気の有無や環境について確認してください。なお、医師の指示や添付文書の指示を守ることができない方もコンタクトレンズの装用に適していません。

<医学的禁忌例>

- ・前眼部の急性および亜急性炎症・眼感染症・ぶどう膜炎・角膜知覚減退症
- ・眼瞼異常・角膜上皮欠損・レンズ装用に問題となる程度のドライアイ及び涙器疾患
- ・レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患・その他医師が装用不適と判断した疾患

<社会的禁忌例>

- ・医師の指示に従うことができない場合・レンズを適切に使用できない場合
- ・定期検査を受けられない場合・必要な衛生管理を行えない場合・極度に神経質でコンタクトレンズの装用に向かない場合

<生活環境的禁忌例>

- ・常時、乾燥した生活環境にいる場合
- ・粉塵、薬品などが目に入りやすい生活環境にいる場合

【形状・構造及び原理等】

<レンズ素材、保存液の主成分>

ソフトコンタクトレンズ分類：グループ1
構成モノマー：2-HEMA,EGDMA
着色剤：フタロシアニン系着色剤
紫外線吸収剤：ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤
保存液の主成分：塩化ナトリウム、リン酸系緩衝剤

【使用目的・効能又は効果】

- ・視力補正

【操作方法又は使用方法等】

本品は終日装用レンズです。寝る時は必ずはずしてください。また、はずした時は必ずレンズのケアを行ってください。眼科医の指示に従い、開封後2週間以内に新しいレンズと交換してください。

<レンズを取り扱う前に>

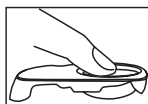
鏡をみて自分の目に目ヤニや充血がないか確認します。爪は短く切り、先端を丸くならかにしておきます。手や指を石けんでよく洗い、石けんが残らないようにすすぎます。（石けんの残った手や指で取り扱ったレンズを装着すると目にしみる場合があります。）また、お化粧品に取り扱うようにしてください。

<レンズと包装やプリスターの確認>

開封前にレンズと包装やプリスターに異常がないか確かめてください。異常がある場合には開封しないで、裏面【お問い合わせ・ご相談】までお問い合わせください。

<レンズの取り出し方> ※右利きの場合

プリスターを持ち数回振ってください。レンズがプリスターの底に張り付いている場合があります。プリスターとラベルをしっかりと持ち、一旦ラベルを真上に引き上げるように少しはがしてから、保存液が飛び散らないようにゆっくり残りをはがします。この時ラベルやプリスターのふちで手を切らないように注意してください。（注：レンズがラベルの裏側についていることがあるので確認してください。）



1. 右手の人差し指のほらにレンズを吸いつけるようにして、レンズをプリスターから取り出します。または、プリスターから保存液ごと直接手のひらに空けて、レンズを取り出してください。



2. 左手の人差し指と親指のほらの上に、レンズの凹面が上になるようにしてのせます。



3. 最後に右手の人差し指の上にレンズの凹面を上にしてのめます。

※プリスターからレンズを取り出す際の注意

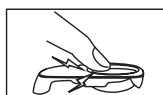
レンズの破損につながりますので、十分に注意してください。



※ レンズを二つ折りにしないでください。



※ レンズに爪をたてないでください。



※ プリスターのふちでレンズをキズつけないでください。

<レンズのすすぎ>

初めてプリスターを開封し新品のレンズを装用する場合にも、化学消毒剤（MPS）またはソフトコンタクトレンズ用保存液でレンズをすすいでから装用してください。

<レンズの確認>

1. レンズに異物の付着、キズ、損傷、汚れ、変形、変色などがなければ確認してください。（このようなレンズを使用すると目に障害を与える原因になりますので、絶対に使用しないでください。）
2. レンズを指の上のせ、裏表を確認してください。レンズを裏側にして装用すると違和感が出たり、はずれやすくなります。
3. 左右を間違えると適切に視力が得られない場合があります。

正しい形

人差し指の先にレンズをのせ、横から見るとレンズは自然なカーブを描きます。

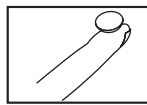


裏返し
人差し指の先にレンズをのせ、横から見るとレンズの縁が外側に反ります。



※レンズを取り扱うときはいつも決まった側から行うように習慣づけると間違いが少なくなります。

<レンズのつけ方>



1. レンズを利き手の人差し指の先にのせ、レンズをチェックします。
※ 手と指の水分をよく拭き取っておくとレンズを付けやすくなります。



2. 同じ手の中指で下まぶたを開き、まばたきをしないようにしっかり引き下げます。
※ この時まぶたも一緒に押さえるとスムーズに開きます。



3. もう一方の手の中指（または人差し指）で上まぶたを開き、ふちをしっかり引き上げます。



4. 両目でまっすぐ前を見たまま、レンズを黒目の上に静かにのせます。
※ この時決して黒目にレンズを押し付けしないでください。目を傷つける場合があります。



5. レンズが黒目に正しくのっていることを確認し、ゆっくりと指をはなします。
※ この時急に指をはなしたり、強くまばたきをするとレンズがはずれる場合があります。



6. 2-3回軽くまばたきをします。

<レンズのはずし方>



1. 鏡をよく見て、レンズの位置を確認してから黒目が上方に向くように鏡を見上げます。



2. 利き手の中指で下まぶたを軽く引き下げます。



3. そのままの状態で利き手の親指と人差し指でレンズを軽くつまみ、レンズをはずします。

※ レンズをつまむときに指先やツメが直接、目に触れないようにしてください。目をキズつける場合があります。

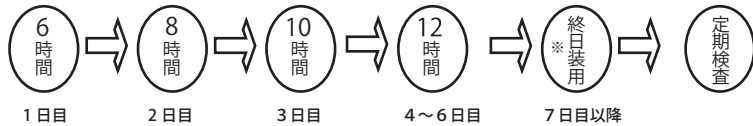
※ レンズをつまむ際には、あまり力を入れ過ぎないように注意してください。（強い力がかかるとレンズが破損して目に障害を与える可能性があります。）

※ 目が乾燥しレンズをはずしづらい場合にはソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼してからはずすようにしてください。

<装用スケジュール>

- 標準的な装用スケジュールを目安に無理のないスケジュールで装用してください。
- 装用時間には個人差があります。装用スケジュールについては眼科医に相談してください。
- 眼科医に指示された時間を守り、寝る前には必ずレンズをはずしてください。
- 1カ月以上装用を中止した場合は、眼科医に相談し、徐々に慣らしてください。

【標準的装用スケジュール】



※1日の装用時間は12~14時間を目安に装用してください。

<レンズのケア（洗浄・消毒）>

- レンズを目からはずした際は必ずレンズのケアを行ってください。
- ケアは化学消毒剤で行ってください。ただし、煮沸消毒はしないでください。（詳しくはケア用品の使用説明書を確認してください。）
- ケアをする際は必ず両面を十分にこすり洗いをしてください。
- レンズの保存には化学消毒剤を使用し、水道水は絶対に使用しないでください。
- ケア用品の選択、ケア方法については眼科医または販売店に相談してください。

【MPSでのケア例】



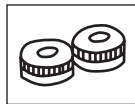
①洗浄

目からレンズをはずし手のひらにのせ、MPSを数滴つけて、レンズの両面を各20~30回指で軽くこすり洗いしてください。
※その時レンズにツメをたてないよう注意しながら上下または左右同じ方向にこすってください。



②すすぎ

こすり洗いが終わったら、MPSでレンズをよくすすぎ洗いしてください。



③消毒・保存

レンズケースにMPSを満し、レンズを完全に液中に沈めてください。そのまま決められた時間放置し、消毒をしてください。装用する際は一度MPSですすいでから装用してください。

- 使用するMPSは、開封後1カ月を目安に使用してください。
- 使用後のMPSは再利用しないでください。
- MPSは他の容器に入れ替えないでください。

※詳しくはケア用品の添付文書をよく読んで、正しくレンズケアを行ってください。

- レンズケースは定期的に新しいものと交換してください。
- 使用後のレンズケースは中の化学消毒剤を捨て、よく洗った後、自然乾燥させてください。

【使用上の注意】

<装用上の注意>

- コンタクトレンズの装用・使用に関しては眼科医の指示に従ってください。
- 装用中に痛みや、くもる・かすむ・ぼやけるなどの見え方の異常を感じたら、直ちにレンズをはずして眼科を受診してください。
- レンズ装用中は、目をこすらないでください。（角膜を傷つけたり、レンズを破損することがあります。）
- レンズを装用してテレビやコンピューターの画面を長時間見続けると、目が乾くことがあります。意識的にまばたきを繰り返してください。
- 乾燥感が強い場合は、眼科医に相談して、ソフトコンタクトレンズ用の目薬を使用してください。
- レンズ装用中は眼科医から指示された目薬以外は使用しないでください。
- 洗剤や化学薬品などが目に入った場合は、直ちにレンズをはずして水道水で目を洗い流してから、レンズは装用せずに眼科を受診してください。

<レンズ取り扱い上の注意>

- レンズを取り扱うときはツメをたてたり、折り曲げたりしないよう気をつけてください。万一、レンズ取り扱い中に破損した場合には、使用しないでください。
- 化粧品、薬品、インク、染料、油類などをレンズにつけないよう注意してください。また、布、紙、硬いものでこすると破損につながります。
- 保存液からレンズを出したままにすると、レンズが乾燥しますので注意してください。一度乾燥したレンズは使用しないでください。

<その他の注意>

- 水泳の際はレンズをはずしてください。
- 目の不調や環境の変化などによってコンタクトレンズが装用できない場合に備えて、目にあったメガネをいつも用意してください。
- アレルギー疾患を有する場合には、コンタクトレンズの装用に適さない場合がありますので、必ず眼科医に相談し、指示を受けてください。
- ヘアスプレー類は目を閉じた状態で使用してください。
- 有害ガスや刺激性のある蒸気が存在する場所では、レンズを装用しないでください。
- レンズに目が慣れるまでは、車の運転や機械類の操作はしないでください。万一、運転中や操作中に異常を感じた場合は、安全を確認して、運転、操作を中止してください。
- 高齢の方や小児でレンズの取扱が難しい場合は眼科医に相談し、指示を受けてください。
- 体調が悪いときには無理な装用はしないでください。
- 妊娠中は体調や目の状態の変化によりレンズの装用に影響がでる場合があります。必ず眼科医に相談し、指示を受けてください。
- レンズをなめたり、口の中に入れてください。
- レンズの装用中、またはケア用品の使用により目に異常を感じた場合は装用を中止して眼科を受診してください。
- 破損や紛失などに備えて、外出や旅行の際には予備のレンズを携帯してください。
- コンタクトレンズは薄くつくられていますので、取り扱いには十分注意してください。レンズ取り扱い中にレンズがキズついたり破損した場合は、絶対に使用しないでください。

【装用中の症状と対処法】

<レンズの装用を開始した直後>

レンズに慣れるまでは、軽い異物感、軽い充血、ものが見えにくい、目のかゆみなどが起こることがあります。このような症状は、個人差もありますが、レンズに慣れるに従って（1週間程度で）解消される場合が殆どです。しかし、このような症状が強かったり長く引く場合は、無理をせず早めに眼科医の検査を受けてください。

<装用に慣れてから>

レンズの装用に慣れてから、次のような症状がある場合は表の対処方法を参考にしてください。それでもなお改善されない場合は、装用を中止して直ちに眼科を受診してください。

症状	原因	対処方法
異物感や痛みを感じる	レンズの表裏を逆に装着	レンズをはずして確認し、MPSですすいで、着けなおしてください。または、レンズに異常がないか確認し、異常があれば新しいレンズに取り替えてください。
	ほこりなどの異物	
	レンズの汚れ	
	レンズにキズや破損	
	目に何らかの異常	眼科を受診し、指示に従ってください。
目が充血する	長時間の装用	レンズをはずし、様子を見てください。レンズの装用を控えてください。
	睡眠不足、体調不良	
	レンズの汚れ	こすり洗い・すすぎ洗い・消毒を行ってください。改善しない場合は新しいレンズに取り替えてください。
	ドライアイ	
	花粉症などのアレルギー	眼科を受診し、指示に従ってください。
	目に何らかの異常	
目がかゆい	レンズの汚れ	こすり洗い・すすぎ洗い・消毒を行ってください。改善しない場合は新しいレンズに取り替えてください。
	花粉症などのアレルギー	眼科を受診し、指示に従ってください。
	目に何らかの異常	
目が乾く	レンズの乾燥	眼科医の指示を受け、ソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼してください。また、意識的にまばたきを繰り返してください。
	空気の乾燥（冷暖房など）	
	長時間にわたるディスプレイ画面の注視	
	ドライアイ	眼科を受診し、指示に従ってください。
	薬の服用（カゼ薬など）	
いつも目ヤニが出る	目に何らかの異常	眼科を受診し、指示に従ってください。
目がかすむ、ぼやける（視力低下）	レンズの左右を逆に装着	レンズをはずして確認し、MPSですすいで、着けなおしてください。
	レンズの乾燥	ソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼してください。
	体調不良	レンズをはずし、様子を見てください。レンズの装用を控えてください。
	長時間の装用	
	度が変わった	眼科を受診し、指示に従ってください。
	目に何らかの異常	
レンズがずれる・はずれる	レンズの表裏を逆に装着	レンズをはずして確認し、MPSですすいで、着けなおしてください。
	レンズの乾燥	ソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼してください。
	レンズが目に合わせていない	眼科医の検査・処方を受けてください。
レンズを入れた後、はずした後に痛みがある	目に何らかの異常	眼科を受診し、指示に従ってください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

保管方法：室温保存（直射日光および高温になる場所は避けてください。）
使用期限：プリスター（1次包装）と箱（2次包装）に記載。
表示された使用期限を過ぎた製品は絶対に使用しないでください。
使用期限はプリスターや箱に“EXP”として記載されています。
例：“EXP 2018/01”や“EXP 2018-01”は2018年1月までの使用期限を示しています。

【保守・点検に係る事項】

本品は開封後2週間を超えて使用しないでください。

【包装】 1箱6枚入りまたは1枚入り（処方用のみ）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

<製造販売元> 株式会社シンシア
東京都中央区日本橋崎町30-1 TEL 03-5695-7470

<製造元> INTEROJO INC. イントロジョ インク・大韓民国

【お問い合わせ・ご相談】

<症状に関するお問い合わせ>

コンタクトレンズ装用にとまなう目の症状などについては、処方を受けた眼科医に相談してください。

<製品に関するお問い合わせ>

レンズの品質には万全を期しておりますが、万一、不具合が認められた場合、そのレンズは決して使用せず下記までご連絡ください。

●製造販売元 / 株式会社シンシア お客様相談窓口

☎ : 0120-354-078

受付時間：10:00 ~ 18:00（月～金曜日 祝祭日除く）

マーク	解説	マーク	解説
	添付文書をお読みください	P	頂点屈折力（ディオプリー）
EXP	使用期限		高圧蒸気滅菌済み
LOT	製造番号		容器包装識別表示：紙
BC	ベースカーブ		容器包装識別表示：プラスチック
DIA	直径		医家向け医療機器